





# 作業療法への理解

～人間は作業を希求する存在である～



介護老人保健施設フェアウインドきの  
作業療法士 小松 顕



# 作業療法は何をする療法なのか？

## キーワード

1. 作業療法の作業とは？
2. 作業療法のはじまりは？
3. 作業療法の人間観は？
4. 作業療法士の役割を考える
5. 作業療法を構成するものとは？
6. 研究からみえる作業の本質

# 作業(occupation)とは？

- ①仕事, 業務, 職業; 従事(している活動)
- ②暇つぶし(pastime)
- ③(職権などの)保持, 在職, 在職期間, 任期
- ④占領, 占拠

本来は、場所や時間を占有して(されて)いる状態をさし、そこから「主として従事していること」すなわち「本業、職業」の意味で使われます

(goo辞典)

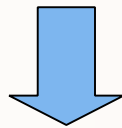
『作業』は単なる手仕事や活動をさすのではなく、目的をもった人間の生命活動そのものを意味する

# 作業療法の歴史(古代～中世)

古代から、運動や仕事、遊びを適度にすることは、心身によいという考え方があった

「幸福は活動それ自体の中にある」(アリストテレス)

「仕事は天然の医師なり」(ガレヌス)

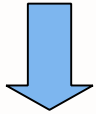


中世には精神疾患者に作業をさせ、悪しき観念の連鎖を断ち切る『道徳療法』が効果があるとして流行

# 作業療法の歴史(アメリカ)

## 「アーツアンドクラフツ運動」

産業革命による工業化で失われた人間性を取り戻す運動  
手仕事や音楽、ダンスなどの作業で弱者救済を目的



## 世界大戦後

負傷兵の機能再建プログラムとして実施  
ADL向上や職業訓練として展開



医療へ組み込まれる

## 作業療法の間観は？

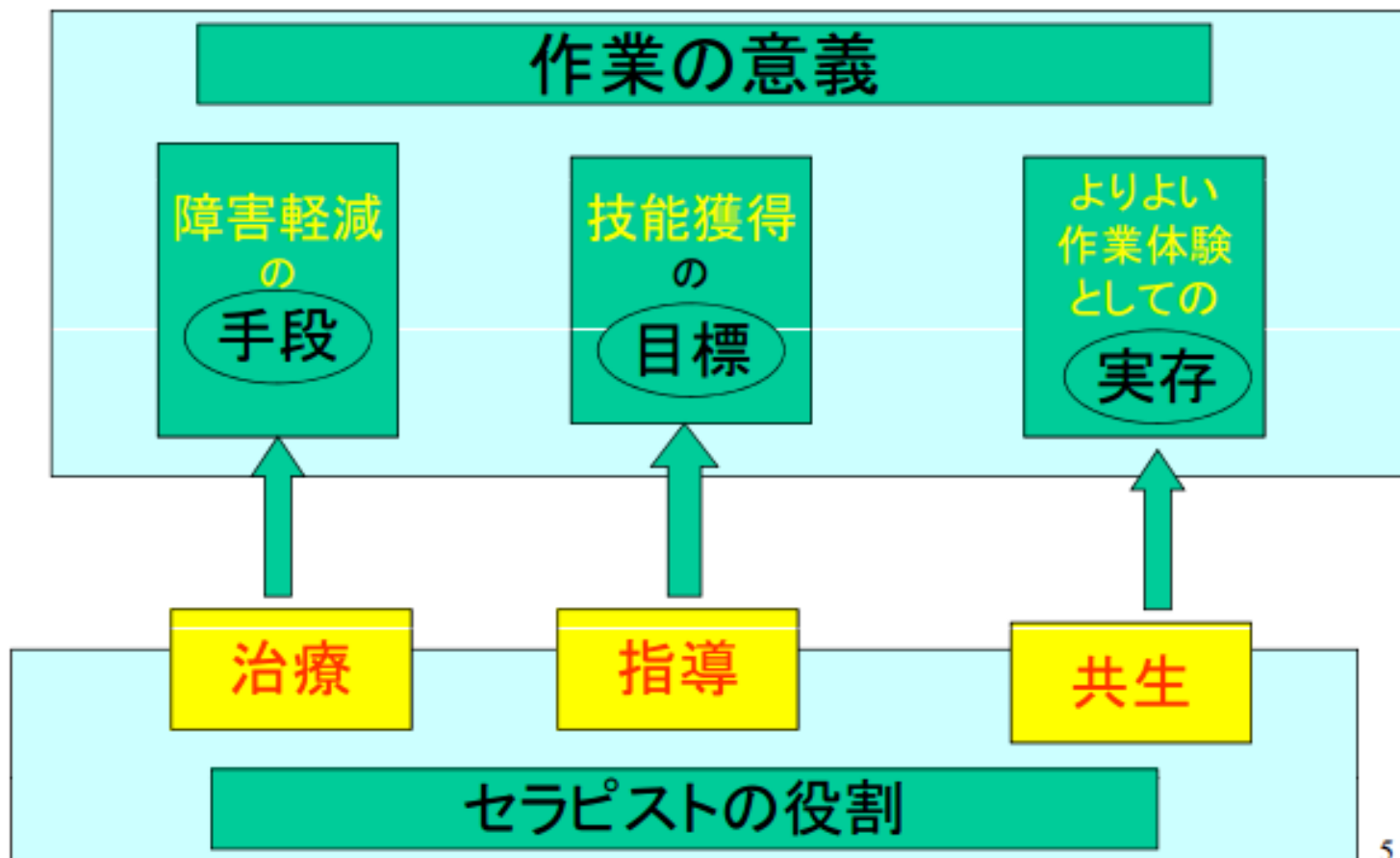
私たちの初期の歴史を調べて分かったことは、私たちの職業が少数の人々に共有されていたあるひとつの理念から生れ出た、ということです。この共通理念とはひとつの仮説であり、その上に私たちの職業は築かれたのです。その仮説は医学の真に偉大な、そして壮大とさえいる仮説だった。そしてそれは現代にも十分に通用するものなのです。その仮説とは、

**「ひとは心と意思に賦活されて両手を使うとき、それによって自身を健康にすることができる」というものです。**

(Reilly, 1962)

**『人間は作業を希求する存在である』**

# 作業療法の意義

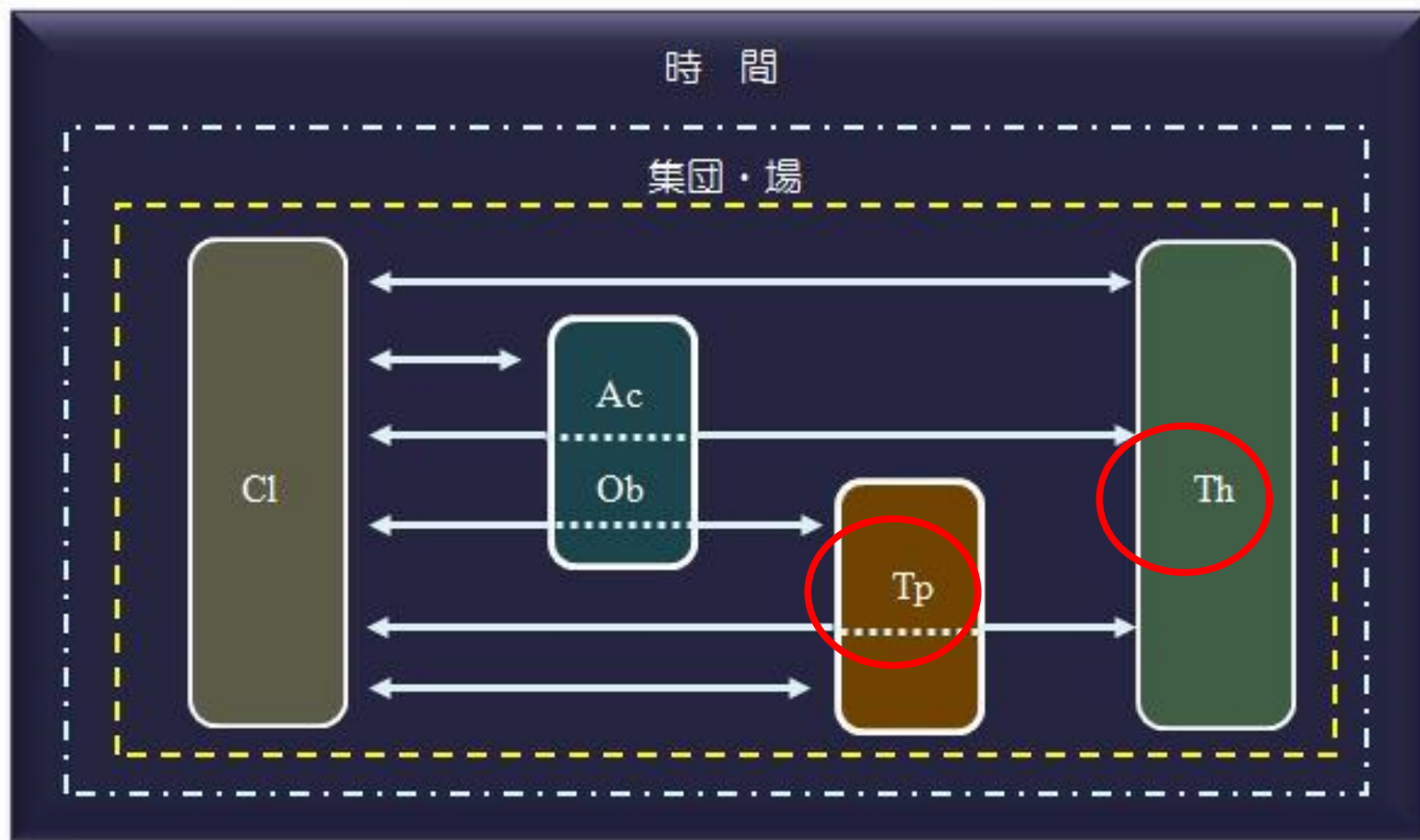


5

鎌倉矩子2001

- ①作業療法とは作業を用いて障害の軽減を図る技術である
- ②要素の強化が必ずしも総合能力の強化やよりよい人生設計をもたらすものではないと気付く作業をできるようにすること(技能獲得)が重要であることが多く、意義のある作業をめざす
- ③放置されれば無為な状態だが、適切な支援があれば充実した時間を過ごすことができる

# 作業療法を構成するもの



Cl: 対象者    Th: 作業療法士    Tp: 集団の構成メンバー  
Ob: 物 (作品, 道具, 材料)    Ac: 作業活動

セラピストも集団も、すべてが作業療法(治療)のツール



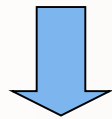
# 作業：治療的メカニズムとしての目的性①

(Trombly)

『腕を伸ばして前方の物品をとる』

麻痺側の upper limb で実施

- ①好みの食べ物が前方30cmの皿の上にある
- ②空の皿へ手を伸ばして触れる



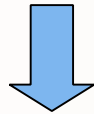
結果は明らかに①の方が、  
滑らかで、より速く、より計画的で力強かった

目的や意味を持った行動の方が、高パフォーマンス

## 作業：治療的メカニズムとしての目的性②

### 『前方の受話器をとる』

- ①合図したら受話器を取って、隣の部屋へダイヤル
- ②コードを切った受話器を置き、合図で受話器をとる
- ③同じ大きさ、重さ、色の木の棒を置き、合図でとる



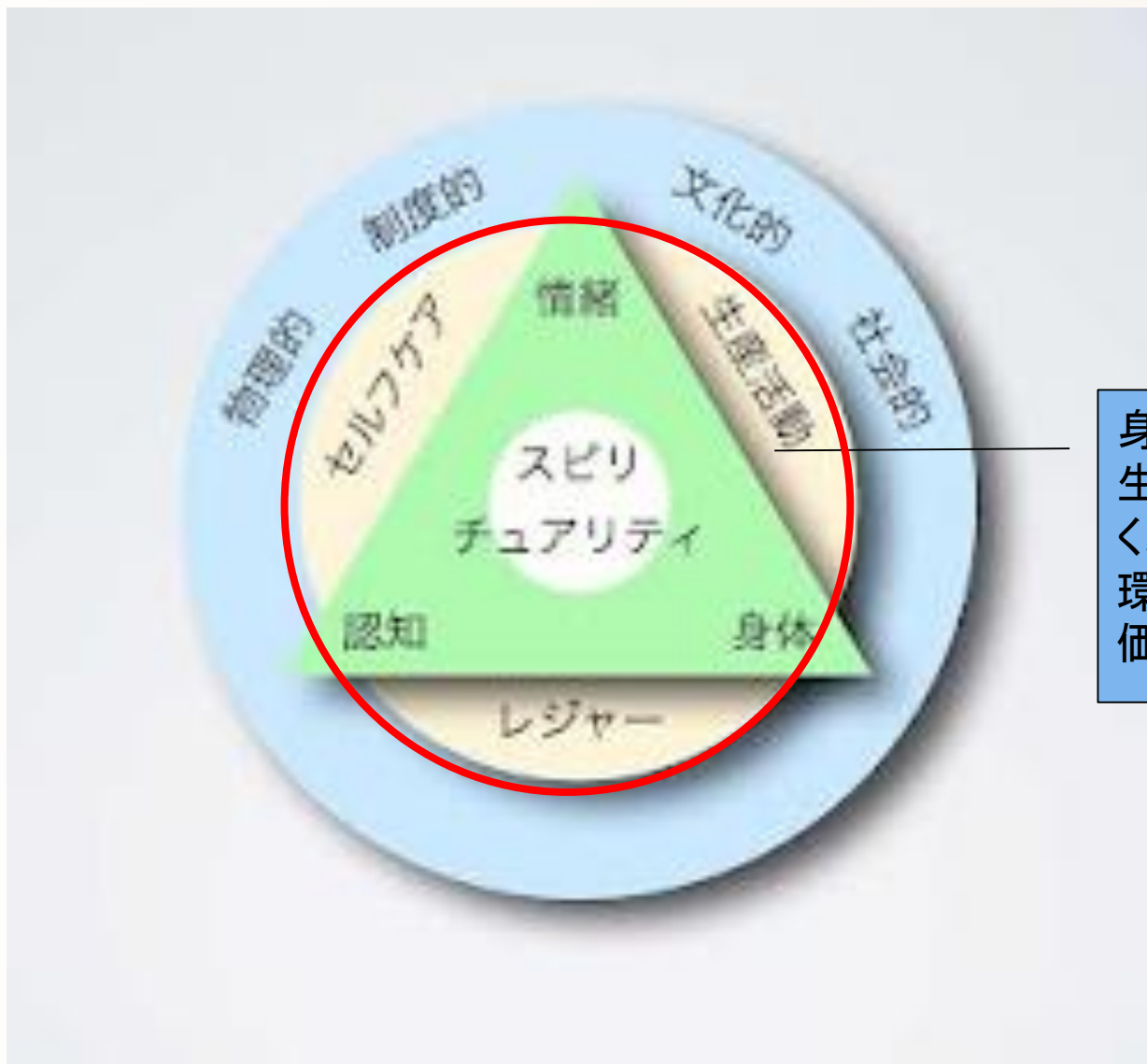
結果に有意差がなかった

⇒研究者の条件付けのみ

いずれも「本当とは違う実験」という意味しかもたなかった

本当に価値をもつ作業が大切

# カナダ作業モデル



身体だけで人は生活するのではなく、生活領域、環境領域も評価していく

# まとめ

- 人間は作業を希求する存在である
- 作業とは目的のある活動
- 人間は目的をもった活動をする存在である
- 人は作業を行うことで、  
①機能改善、②技能の獲得、③よりよい存在となり、人間性の回復がなされる